

平成 28 年度鹿児島県看護協会鹿児島地区第 6 回研修会

テーマ 「 准看護師研修会 」

2016 年 12 月 3 日 (土)

講師：鹿児島市医師会病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 松尾 晴代 先生

参加者 22 名 アンケート回収数 22 名

職種

看護師	2 名
准看護師	17 名
保健師	0 名
助産師	0 名
その他	3 名(看護助手・栄養士)

年齢

10 歳代：	1 名	20 歳代：	1 名
30 歳代：	2 名	40 歳代：	6 名
50 歳代：	12 名	60 歳代：	0 名

参加動機

1) 内容にひかれたから	8 名
2) 人に勧められたから	12 名
3) その他	2 名

(自己学習のため)

研修内容の評価

・とてもよかった	13 名
・よかった	8 名
・ふつう	0 名
・あまりよくなかった	0 名
・よくなかった	0 名
・無回答	1 名

研修の時間、場所についてのご意見

- ・場所、時間ともよかったです
- ・できれば午前中
- ・12 月は忙しいので 8～11 月がいいです



研修の感想やご意見

- ・誤嚥リスクの高い患者が多いので、食事介助の方法など勉強になりました。
- ・とても分かりやすかったです。スタッフ不足もありますが、これからは患者様に寄り添ったケアをしていきたいと思いました。
- ・基本的な口腔ケア・観察の大切さを改めて考えさせられました。食べること、相手の立場に立って今後ケアしていけたらいいと思います。
- ・摂食嚥下障害についてよく分かりました。これからの看護に生かせるようにしたいと思います
- ・「食」は入院している患者にとって楽しみにしていることの一つであり、日々の業務でも自力摂取が進まない方、介助を拒否している方への対応に頭を悩ますところでもあります。本日の研修を参考にしたいと思います。
- ・実際の現場での食事介助や口腔ケアの方法など考えさせられる部分が多くあった。少しでも生かしていけたらと思う。
- ・明日からすぐに実践できることがたくさんありました。患者のために食することを少しでもできるように支援していきたいと思います。
- ・私の職場は重症心身障害者施設です。摂食障害の方たちばかりです。基本中の基本を学びました。わかっているようで忘れていたことも多かったので勉強になりました。

今後、企画してほしい研修

- ・看護観・認知症・エンゼルケア・患者様、家族との向き合い方

研修を終えて

今回は摂食嚥下障害患者の看護についての研修でした。摂食嚥下のメカニズム・障害の評価と訓練・食事介助方法・口腔ケアについて講義を受けました。

誤嚥に対するアセスメント方法や誤嚥性肺炎の予防として侵襲の軽減と抵抗力の向上を図ることが必要であることを学ぶことができました。また、人が口から食べることの意義や食べることへの支援で心がけること、食事介助方法を具体的に学ぶことができ、一人でも多くの患者様が美味しく、楽しく、安全に食べることができるようあきらめずに援助していきたいと思える研修でした。

平成 29 年 1 月 9 日 文責 松元利枝子